

1 から学ぶ中学受験算数 ~第39回 規則を見つける④ (数表)~
 氏名: 解答・解説

例1 奇数を、右の表のように並べました。
 10段目にある数の和を求めなさい。

★三角形状に並べる
 → □段目には、□個ある！
 (段目と個数が同じ)

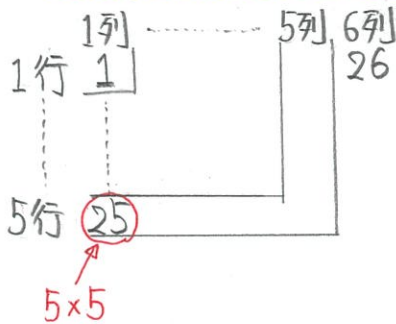
10段目の最初の数は、
 1~9段目まで、 $1+2+\dots+9=45$ 個あるので、
 1から始まる奇数の46番目の数。
 だから $1+2\times(46-1)=91$
 10段目の最後の数は、1から始まる奇数の55番目。
 だから $1+2\times(55-1)=109$

1段目	1
2段目	3 5
3段目	7 9 11
4段目	13 15 17 19
⋮	⋮

10段目の和は
 $(91+109)\times 10 \div 2 = 1000$

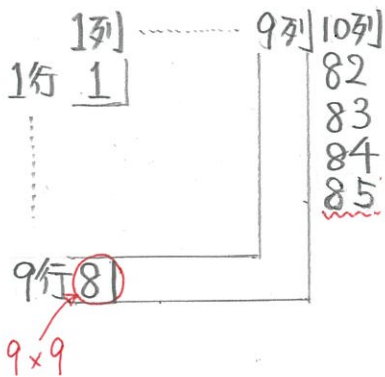
例2 右の表のように、数が並んでいます。
 (1) 1行の6列の数を求めなさい。

★正方形状に並べる
 → 1列か、1行の数に規則が出る！



左の表より 26

(2) 85は何行の何列の数ですか。



左の表より 4行10列

かき分けに分けると見やすい!

1列	2列	3列	4列	⋮
1行	1	2	5	10
2行	4	3	6	11
3行	9	8	7	12
4行	16	15	14	13
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

平方数に
 なっている!

★補足
 平方数とは、
 「同じ整数2個の積」のこと。
 ①例 $1, 4, 9, 16$
 $1 \times 1, 2 \times 2, 3 \times 3, 4 \times 4$